

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

重油焚きボイラの高効率都市ガス焚きボイラへの
転換による省エネ事業

排出削減事業者名：おぼろタオル株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	おぼろタオル株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	おぼろタオル株式会社 本社工場
住所	三重県津市上浜町 3-155
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

重油焚きボイラの高効率都市ガス焚きボイラへの転換による省エネ事業

2.2 排出削減事業の目的

染色槽の加温及びタオルの乾燥のための重油焚きボイラを都市ガス焚きボイラに転換し、省エネを図る。（燃料：A重油⇒都市ガス）

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存の重油焚きボイラを、高効率の都市ガス焚きボイラに転換し、エネルギー効率を改善することでエネルギー消費量を削減、CO₂ 排出量を削減する。また、ボイラ燃料である重油の使用に対し、都市ガスを動力源とするボイラに転換することにより、CO₂ 排出が削減される。

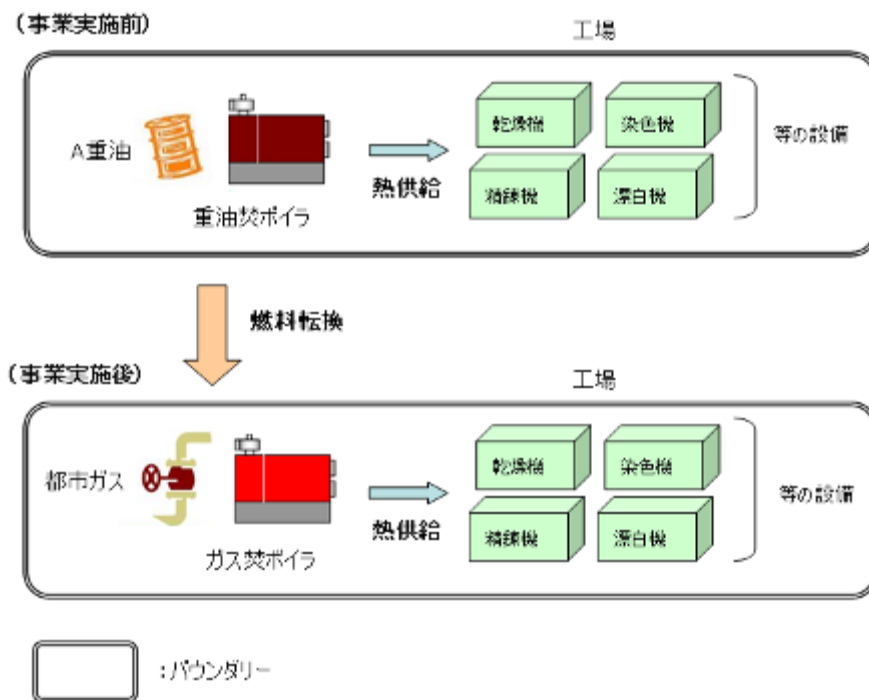


図1 設備概要図

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

2.6 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年2月8日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2018年2月7日

3 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

本方法論では活動量は用いていない。

4.2.2 活動量の採用根拠

本方法論では活動量は用いていない。

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業のバウンダリーは、燃料供給設備及び更新されるボイラから熱・蒸気の供給を受ける設備とする。(2.3 図1参照)

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,pj}$	事業実施後燃料使用量（都市ガス）	Nm ³	【2013年度】 173,561 【2014年度】 195,829 【2015年度】 181,828 【2016年度以降】 355,018	請求書（m ³ から Nm ³ への 換算係数 0.957、東邦ガス）	
$HV_{fuel,pj}$	事業実施後燃料の単位発熱量（都市ガス）	GJ/千 Nm ³	【2013年度】 0.0440 【2014年度】 0.0464 【2015年度】 0.0460 【2016年度以降】 0.0450	デフォルト値	
\mathcal{E}_{pj}	事業実施後ボイラのボイラー効率	%	86.4	計算により算出	
\mathcal{E}_{BL}	ベースラインのボイラ効率	%	83.6	計算により算出	
$CF_{fuel,BL}$	ベースライン燃料（A 重油）の単位発熱量あ たりの CO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	デフォルト値	
$CF_{fuel,pj}$	事業実施後燃料（都市ガス）の単位発熱量あ たりの CO ₂ 排出係数	tCO ₂ /GJ	【2013年度】 0.0513 【2014年度】 0.0513 【2015年度】 0.0513 【2016年度以降】 0.0513	デフォルト値	

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
173,561 (Nm3)	0.0440(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
195,829 (Nm3)	0.0464(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
181,828(Nm3)	0.0460(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
355,018(Nm3)	0.0450(GJ/Nm3)	0.0513 (tCO2/GJ)	
EM _{Pj}			2,106.5 (t-CO2)

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
173,561 (Nm3) 86.4 (%) 83.6 (%)	0.0440(GJ/Nm3)	0.0708 (tCO2/GJ)	
195,829 (Nm3) 86.4 (%) 83.6 (%)	0.0464(GJ/Nm3)	0.0708 (tCO2/GJ)	
181,828(Nm3) 86.4 (%) 83.6 (%)	0.0460(GJ/Nm3)	0.0708 (tCO2/GJ)	
355,018(Nm3) 86.4 (%) 83.6 (%)	0.0450(GJ/Nm3)	0.0708 (tCO2/GJ)	
EM _{BL}			3,004.6 (t-CO2)

7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0 (t-CO2)

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM_{BL}</i>	3,004.6 (t-CO ₂)
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM_{Pj}</i>	2,106.5 (t-CO ₂)
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0 (t-CO ₂)
温室効果ガス排出削減量		<i>ER</i>	898 (t-CO₂)

8 省エネルギー量

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースラインー実績 (①ー②)
1,087.4	1,052.1	35.3

$$\underline{\underline{\text{省エネ量} = 1,087.4 \text{ (k}\ell\text{)} - 1,052.1 \text{ (k}\ell\text{)} = 35.3 \text{ (k}\ell\text{)}}}$$

9 再生可能エネルギー利用量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。